



木材および木質材料の力学特性評価法の検討および確立

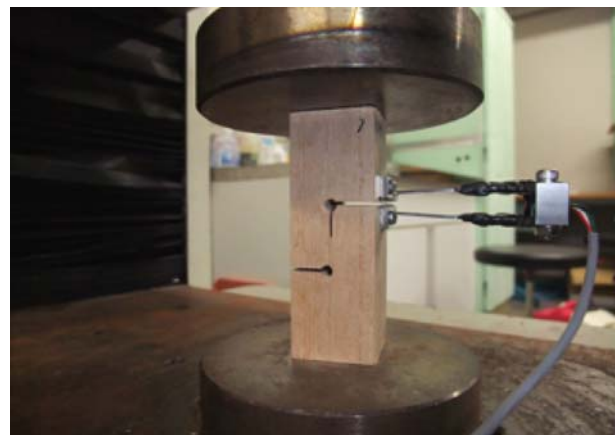
総合理工学部 教授 吉原 浩
総合理工学部 准教授 吉延匡弘

資源循環プロセス工学研究室では、表題のとおり木材および木質材料の力学特性評価法について検討し、より適切な評価法の確立に取り組んできました。これまで木材や木質材料の力学特性の評価は、主要な工業規格に準じて行われることが一般的でした。しかし、用途の多様化や新たな材料の開発に伴い、こうした規格によって適切に評価できなくなるような場面が多くなり、「工業的」な側面のみならず、より「科学的」な評価方法の確立が必要となってきました。

木材および木質材料の力学特性評価法研究は非常に基礎的で、一見するときわめて地味な印象の課題ですが、多様化する用途や新たな材料開発に寄与するのみならず、木材や木質材料を用いた構造物の安全性を担保する上できわめて重要な課題であると考えています。また、得られた成果を学生および大学院生等とともにいくつかの学術雑誌および学会で定期的に公表しています。



円孔を有するコピー用紙の引張試験



木材の圧縮せん断試験による
モードII破壊じん性試験